

川越工業高等学校 ≪活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）≫

課程	定時制	学科	普通科 工業技術科	R4.5.1 生徒数	(男) 99 (女) 30	計 129			
アクセス	東武東上線、JR川越線「川越駅」下車 徒歩10分 西武新宿線「本川越駅」下車 徒歩7分								
<目指す学校像>									
社会の変化に主体的に対応できる力と自立する力を育成する。									
〈重点目標〉									
1 基本的生活習慣の確立と学力、技能の定着									
2 地域社会や家庭との連携									
3 生徒一人ひとりの個性に応じた進路実現									
<教育課程等> ※1									
<ul style="list-style-type: none"> ・各学年普通科1クラス、工業技術科2クラス設置 実習科目中心に展開 工業技術科は機械類型、電気類型各1クラス編成 計12クラス ・単位制を導入 ・毎日授業前、給食（17:00～17:30）あり（生徒・教員が一緒） ・毎日、始めのSHR後、45分×4時間授業 ・「ICT機器」を効果的に活用し、「協調学習」を実施 ・普通科、工業技術科とも資格取得の取組を推進 ・多数の部活動があり、毎日盛んに行われている。 									
<本校が求める生徒> ※2									
<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を送れる生徒 ・高校で学ぶ意欲を持った生徒 ・学校のルールを守れる生徒 									
<学校行事>									
社会体験活動（7月）、体育祭（9月）、工業祭（10月）、修学旅行（4年次11月） 一日旅行（11月）、球技大会（12月）卒業生を送る会（2月）、各年次進路ガイダンス・キャリアデザイン授業（適宜）									
<部活動>									
運動部…陸上部、野球部、卓球部、サッカー部、バスケットボール部、バドミントン部 文化部…写真部、囲碁・将棋部、パソコン部、軽音部、文芸創作部									
野球部・陸上競技部全国大会出場、三段跳び・バスケットボールは全国1位の実績あり。 バドミントン部も全国大会に出場実績あり。サッカー部も盛んで県大会2位の実績あり。 令和3年度はバドミントン部が全国大会に出場。									
<家庭・地域との連携>									
<ul style="list-style-type: none"> ・「未来の職業人材育成事業」推進校 ・社会体験活動 ・体育祭における保護者の参観 ・工業祭（文化祭）における製作・出品・販売 ・「彩の国教育週間」に行われる授業公開 ・多文化共生事業、通訳を交えての保護者面談 									
進路	R4.3 卒業生	四大	2人	短大	0人	専門	2人	就職	25人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、数名の四大等進学者がいる。 ・就職希望者の割合が増えている。 ・地元企業との関わりが強くなってきている。 ・毎年、未定者はおらず進路実現に繋がっている。 							

【学校教育法施行規則第103条の2】高等学校における三つの方針

裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

※1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

※2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

県立川越工業高等学校 定時制の課程

～ 育成方針 ～

【目指す学校像】

社会の変化に主体的に対応できる力と自立する力を育成する。

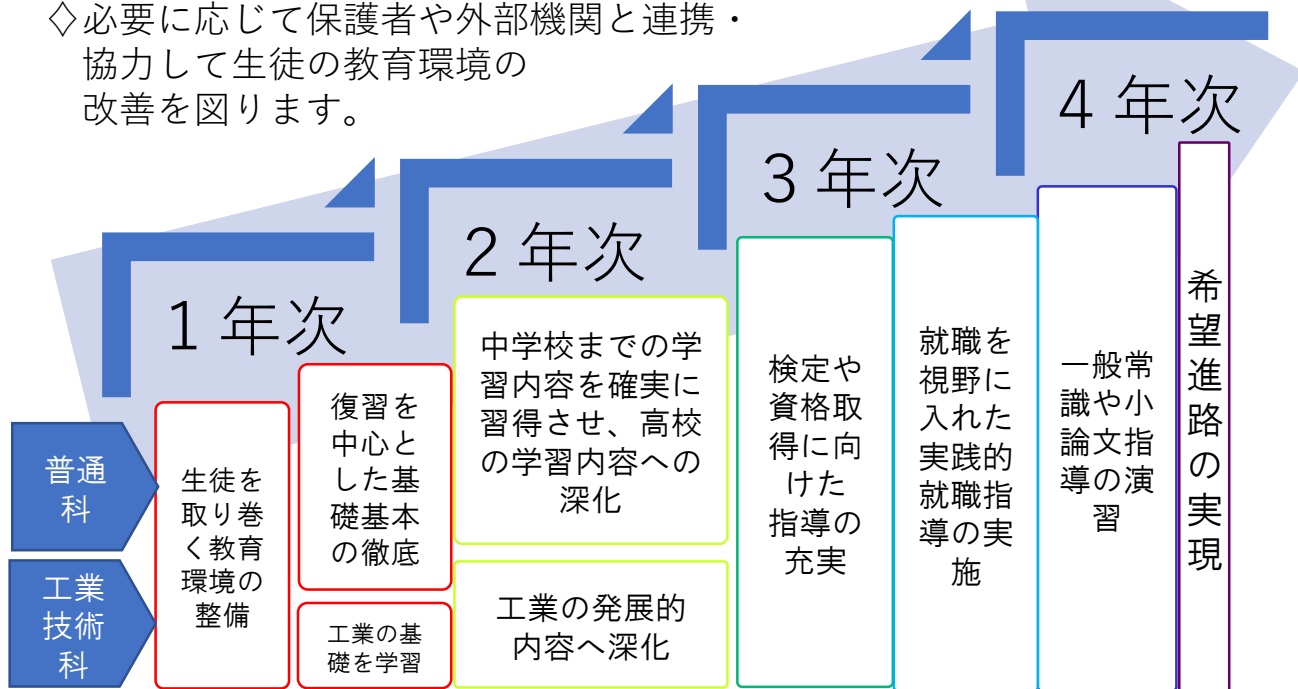
【本校の特色】

- ◇ 普通科と工業技術科（機械類型，電気類型）を設置し，基礎基本から発展まで学びます。
- ◇ 多様な生徒個々に適したサポートを充実させ，一人ひとりの特性を生かした進路実現を目指します。
- ◇ 生徒会活動や部活動が盛んで，全国大会へ出場している部活動がたくさんあります。



【本校の魅力】

- ◇ 多様な生徒へのきめ細やかな指導が本校の最大の魅力です。
- ◇ 高校で学ぶ意欲を持った生徒に教員が熱意を持って指導します。
- ◇ 必要に応じて保護者や外部機関と連携・協力して生徒の教育環境の改善を図ります。



部活動 野球，陸上，バドミントン，バスケットボール部が全国大会に出場

外部機関との連携 SSW，SC，就職支援アドバイザー，巡回支援員との連携

県事業の積極的活用 学習サポーター事業，多文化共生推進事業の活用

給食 始業前に、生徒と教職員と一緒に給食を食べます。毎日HPに更新

